

氏名	佐々木一恵 教授
こんな研究をしています	19世紀末から20世紀初頭の米国聖公会におけるアングロ・カトリシズム（イギリス国教会においてカトリック的要素の復興を唱えた神学）の興隆から、米国の革新主義運動を捉えなおす研究をしています。とりわけ、ジェンダー・セクシュアリティとアングロ・カトリシズムの興隆の関係に注目し、「生」（感情体制から生・政治に至る）の避難所としての宗教（アングロ・カトリシズム）と社会運動の連関性について検討しています。
こんな成果を挙げています	<p>（著書・単著）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <i>Redemption and Revolution: American and Chinese New Women in the Early Twentieth Century</i> (Ithaca, NY: Cornell University Press, 2016). <p>（論文）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「『神に奉獻した生』とプロテスタントの女性主体：19世紀後半のアメリカにおける聖マリア修女会の実践から」『異文化』24号、2023年。 ● 「善き生の回復を求めてーラルフ・アダムズ・クラムの教会建築論に見る革新主義期アメリカに抗するアングロ・カトリシズムの想像力」『年報アメリカ研究』56号、2022年。 ● 「プロテスタンティズムの倫理と革新主義期アメリカの精神ーアングロ・カトリシズムの視点から見る生政治ー」『異文化』23号、2022年。 ● 「聖十字架修女会の会員とセツルメント運動ー生と活動の様式としてのアングロ・カトリシズム」『ジェンダー史学』16号、2020年。 ● 「『第三者』性のポリティクスー19世紀末ニューヨークの聖公会員の社会改革運動と公共領域の再編」『アメリカ史研究』42号、2019年。
ほかに、こんなジャンルに関心をもっています	19世紀後半から20世紀前半のアメリカ合衆国の思想史・宗教史・ジェンダー史
こんな授業を行なっています	<ul style="list-style-type: none"> ● 「多文化相関論Ⅲ（歴史学の諸アプローチ） 歴史学の諸潮流について文献講読を中心に議論を行なっています。 ● 「ジェンダー論（ジェンダー史の展開）」 歴史学の視点からジェンダー・セクシュアリティを取り上げた文献講読を中心にして議論を行なっています。
学会や社会でこんな活動をしています	<ul style="list-style-type: none"> ● Cornell University Press の査読委員 ● The Journal of Pacific History の査読委員
私が思う多文化的かつ、インターカルチュラルな人物	エドワード・サイード